

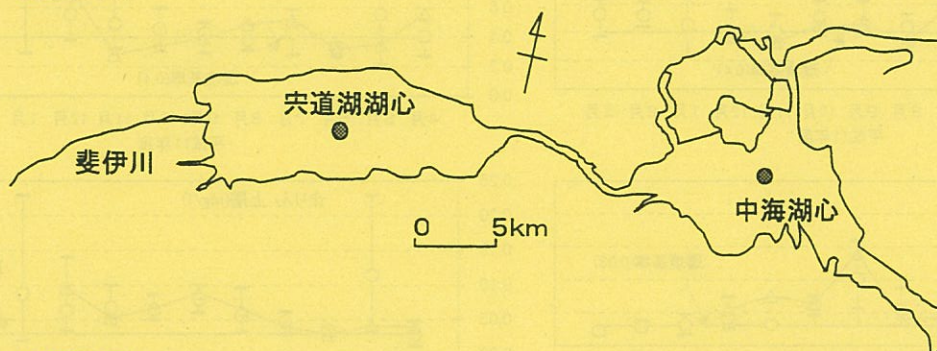
輝水だより (第24号)

[問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係 電話:22-5562

平成 11 年 12 月の宍道湖・中海の水質の状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点

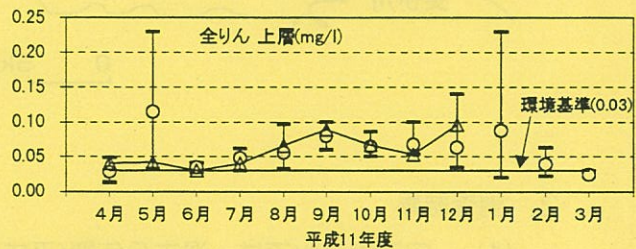
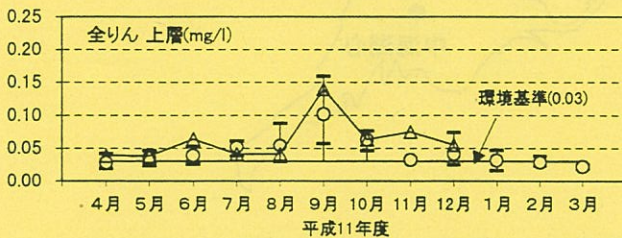
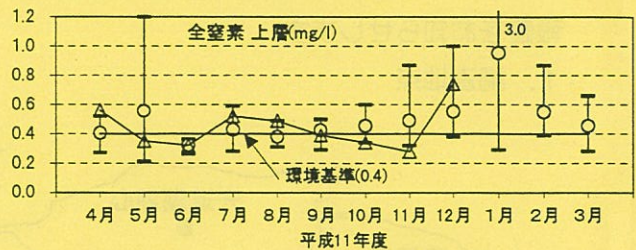
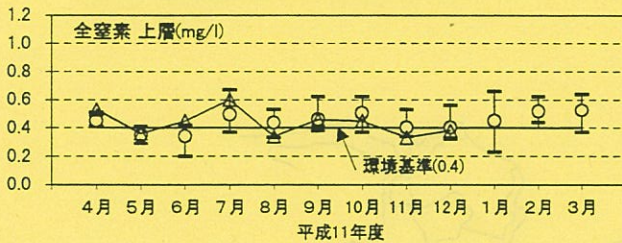
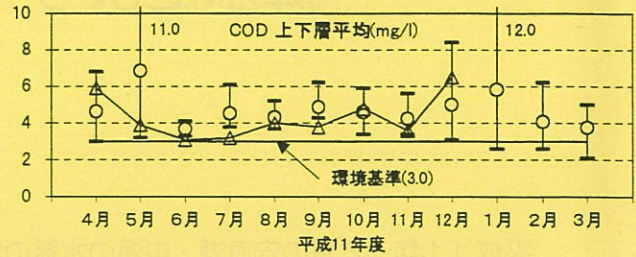
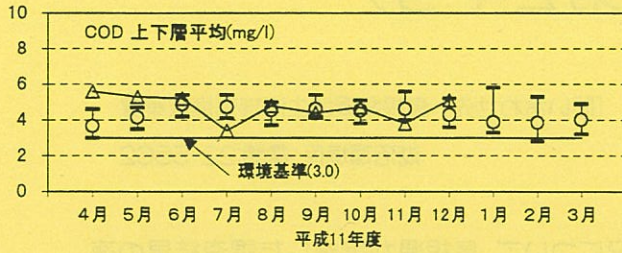
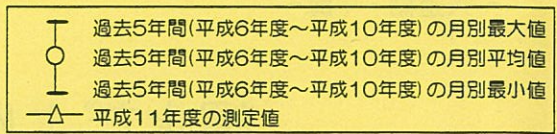


2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成6年度～10年度)の同月と比べると、COD及び全りんは平均値よりも高い値で、全窒素は平均値よりも低い値でした。湖全域にわたり小さな塊になったアオコが散見されました。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、COD、全窒素及び全りんは平均値よりも高い値でした。また、中海における島根県域の観測によると、湖の東側で赤潮が確認され、湖南側の下層では貧酸素化していました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]平成10年度平均*	
			10月	11月	12月	10月	11月	12月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	°C	—	23.4	17.5	10.2	22.9	18.0	11.1	—	—
pH(上層)	—	6.5～8.5	8.6	8.3	8.2	8.7	8.5	8.8	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.7	3.8	5.1	4.8	3.6	6.5	4.7	4.7
SS(上層)	mg/l	5以下	5	4	6	7	3	13	6	9
DO(上層)	mg/l	7.5以上	8.7	9.8	10	7.8	8.9	12	9.6	9.4
DO(下層)	mg/l	7.5以上	8.1	<0.5	10	1.6	0.9	1.8	7.7	4.1
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.45	0.33	0.38	0.34	0.28	0.74	0.44	0.46
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.063	0.075	0.055	0.067	0.053	0.096	0.051	0.064
Cl(上層)	mg/l	—	2000	2400	2500	9100	10000	10000	1600	8400
Cl(下層)	mg/l	—	2000	2500	2600	16000	17000	14000	2000	14000
クロフィルa(上層)	μg/l	—	25	14	24	11	8.1	51	24	20

* 平成 10 年度公共用水域測定結果による。



央道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんと同様にプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は18800mg/lです。